

くしろの水道

1	釧路市の水道施設（上水道・簡易水道）の紹介	・ ・ ・ ・ ・	2
2	給水区域図（釧路地区、阿寒・音別地区）	・ ・ ・ ・ ・	3
3	上水道施設フロー	・ ・ ・ ・ ・	5
4	簡易水道施設フロー	・ ・ ・ ・ ・	7
5	水道基幹施設地震災害時緊急貯水システム	・ ・ ・ ・ ・	13

釧路市の水道施設（上水道・簡易水道）の紹介



釧路地区（上水道・山花簡易水道施設）

＜愛国浄水場、山花簡易水道＞

（水源）

上水道の愛国浄水場は、阿寒摩周国立公園の東部に位置する屈斜路湖を源とする釧路川を水源としています。山花簡易水道は、深さ 150m の深井戸を水源としています。

（水量）

釧路川は、泥炭層からなる釧路湿原を貫流し、湿原の保水性が高いことから、季節に関係なく必要とする水量を確保することができます。

（水質）

釧路川は、湿原の影響を受けて黄褐色を帯びているほか、夏季の藻類やプランクトン類の流入と融雪時期のアンモニア性窒素流入などにより浄水処理を難しいものとしています。山花簡易水道は、原水 pH が高く、調整をして配水しています。

（配水方法）

愛国浄水場は、一部高台地区を除いてほとんどが平坦地であり、自然流下による方法が困難であることから、ポンプ加圧方式で配水をしています。山花簡易水道は、ポンプ圧送と配水池自然流下を併用した方式で配水しています。

阿寒地区（阿寒市街・飽別・阿寒湖畔簡易水道施設）

＜阿寒浄水場、飽別浄水場、阿寒湖畔浄水場＞

（水源）

阿寒浄水場の水源では、延長 30.5km・流域面積 62.6km² のシュンクシタカラ川は、ほとんどが国有林の山間部を流域としています。飽別浄水場の水源では、延長 3.0km・流域面積 3.1km² の田ブチ川は、国有林の山間部を流域として泉川、阿寒川と合流しています。阿寒湖畔浄水場では、延長 2.4km 流域面積 2.2km² の阿寒摩周国立公園の保護区域内で、阿寒湖に注ぐチップ川を源としています。

（水質）

阿寒浄水場・飽別浄水場・阿寒湖畔浄水場は、降雨時には濁度・色度の上昇が見られますが、通常時には低濁度のきれいな水です。

（配水方法）

阿寒浄水場は、布伏内及び阿寒の 2 箇所の配水池にポンプ圧送により送水し、配水池からは自然流下により配水しています。飽別浄水場は、配水池より自然流下で配水しています。阿寒湖畔浄水場は、隣接の配水池より自然流下で配水しています。

音別地区（音別簡易水道施設）

＜音別浄水場、直別浄水場＞

（水源）

音別簡易水道の音別浄水場及び直別浄水場は、共に地下水を水源としています。

（水量）

音別浄水場及び直別浄水場は、共に浅井戸による取水を行っており、季節に関係なく必要とする水量を確保することができます。

（水質）

浅井戸による取水を行うことにより、降雨時等による濁度及び色度の上昇はほとんど見られず、水質は 1 年を通じて安定しています。

（配水方法）

音別浄水場及び直別浄水場は、各浄水場より高地にある配水池へポンプにより送水をし、配水池からは自然流下により配水をしています。

給水区域図（阿寒・音別地区）

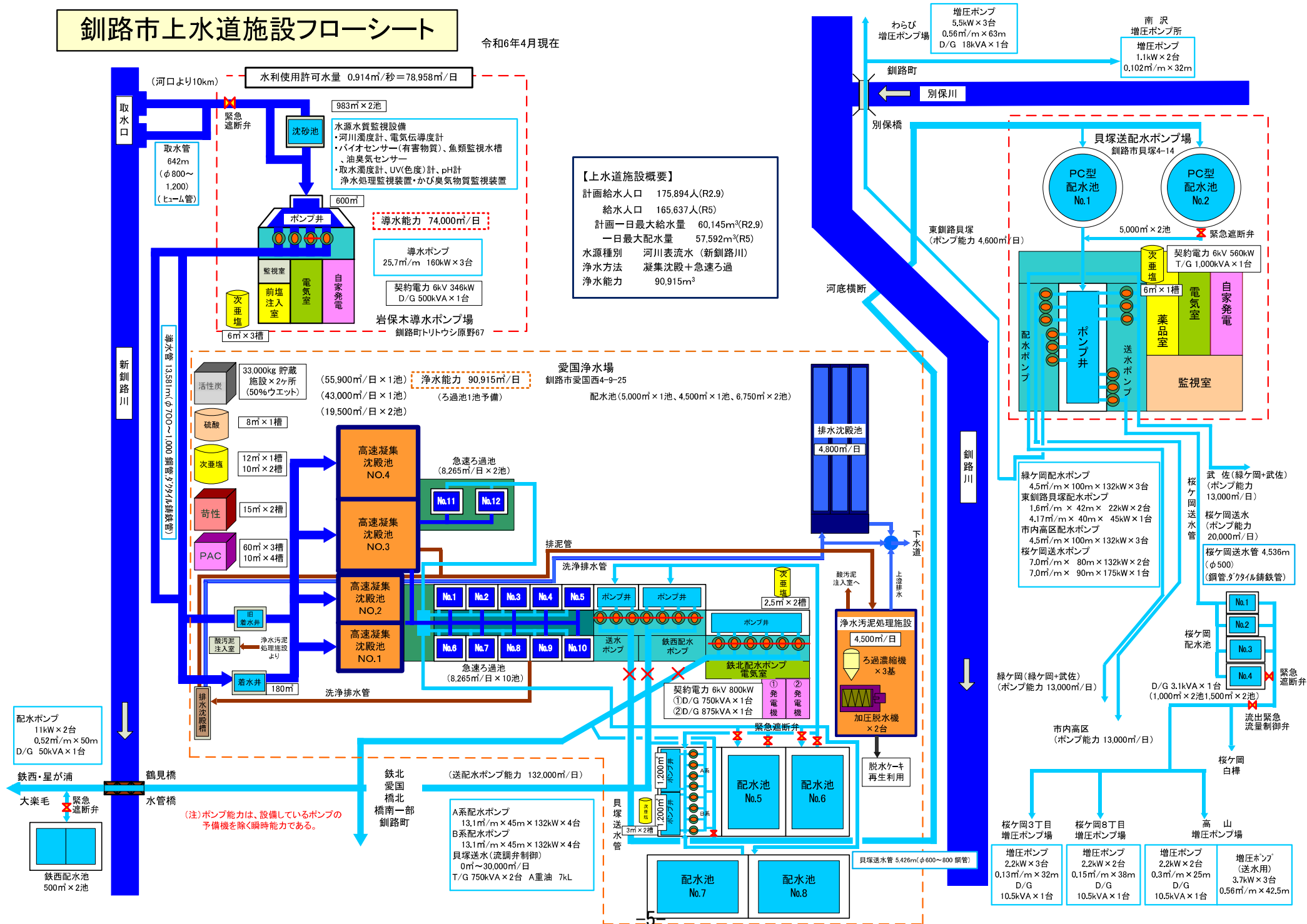
阿寒地区



音別地区



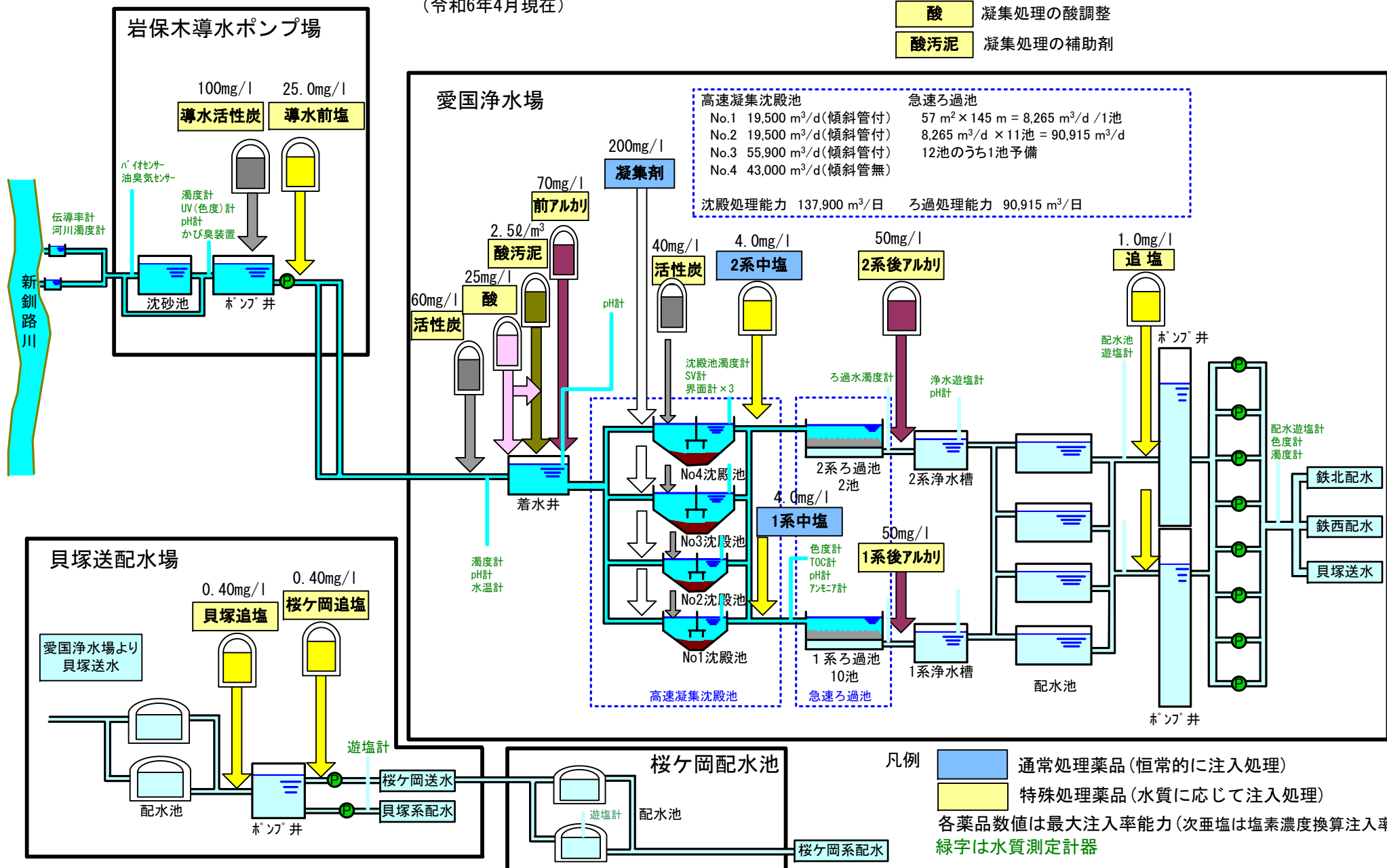
令和6年4月現在



釧路市上水道施設 浄水処理フロー

(令和6年4月現在)

凝集剤	凝集沈殿処理剤	導水活性炭	高濃度有機物処理	前アルカリ	凝集処理のアルカリ調整
中塩	鉄・マンガンの処理	導水前塩	藻類処理	後アルカリ	配水pH調整
		活性炭	臭気・有機物処理	追塩	配水残塩調整
		酸	凝集処理の酸調整		
		酸汚泥	凝集処理の補助剤		



山花簡易水道フローシート

令和 6年4月現在

許可概要

許可年月日 昭和35年8月22日付
35環第7119号指令
計画給水人口 800人
計画一日最大給水量 120m³/日
計画一人一日最大給水量 150ℓ/人・日

取水設備

深井戸 : φ150mm × 150m
井戸ポンプ : 110ℓ/min × 50m × 2.2kW

浄水設備

除砂装置 : サイクロン式(除砂粒径55μm)
サントフィルタ式(除砂粒径20~40μm)

pH調整装置 : 炭酸ガスボンベ50kg × 2
圧力調整器、スタテックミキサ
バッファタンク(200ℓ)

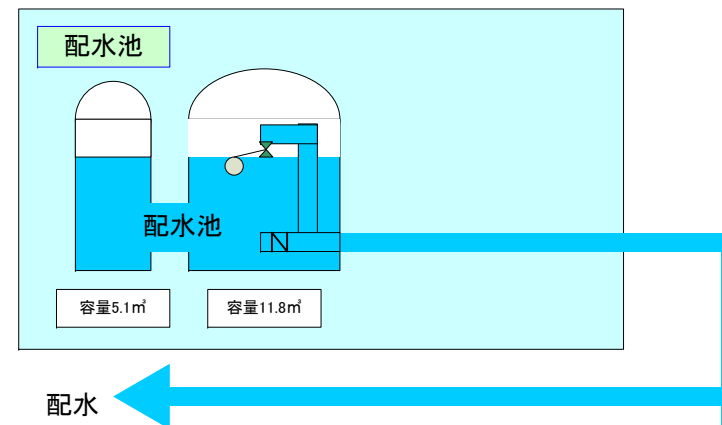
消毒装置 : 次亜塩蔵槽(1% 200ℓ)
次亜注入ポンプ(28cc/min)
次亜塩注入フローセンサ

水質監視装置 : 自動測定装置
(濁度、色度、残留塩素、pH)

配水設備

受水槽 : 容量 20m³(有効17m³)
配水ポンプ : 300ℓ/min × 37m × 2.2kW
× 3台

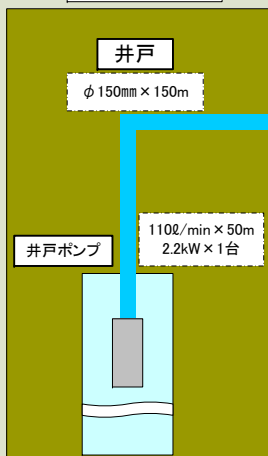
配水池 : 容量16.9m³ 流入はボール
タップ流出はチャッキ弁による



山花簡易水道構内

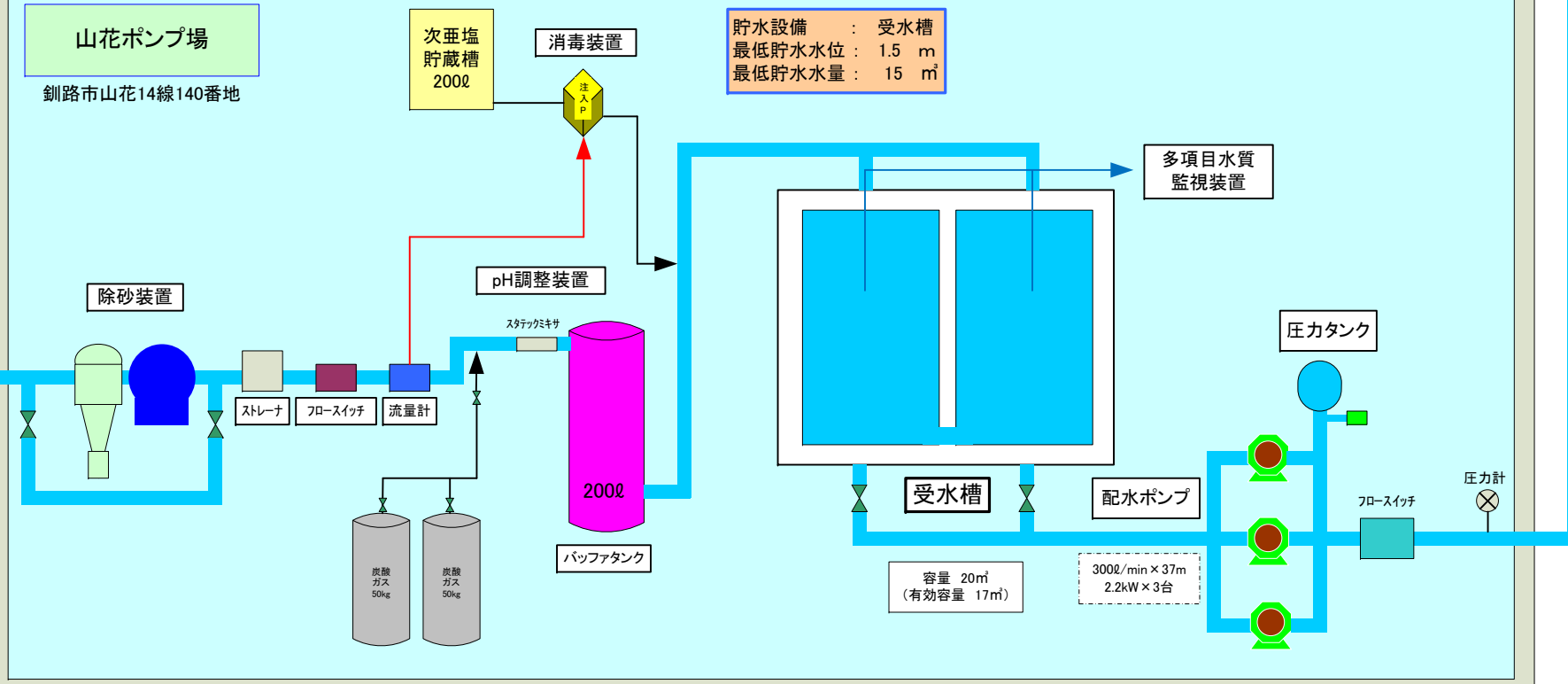
山花系配水
給水世帯数 : 26 世帯
給水人口 : 40 人
平均配水量 : 9 m³/D
最大配水量 : 18 m³/D
必要貯水量 : 1 m³

非常用発電設備
D/G 50kVA × 1台



山花ポンプ場

釧路市山花14線140番地



阿寒簡易水道施設フロー

令和6年3月現在

阿寒浄水場

釧路市阿寒町布伏内22線北46番地24地先

(水利使用許可水量 0.02877m³/秒 ≒ 2,486m³/日)

(昭和61年9月26日許可)

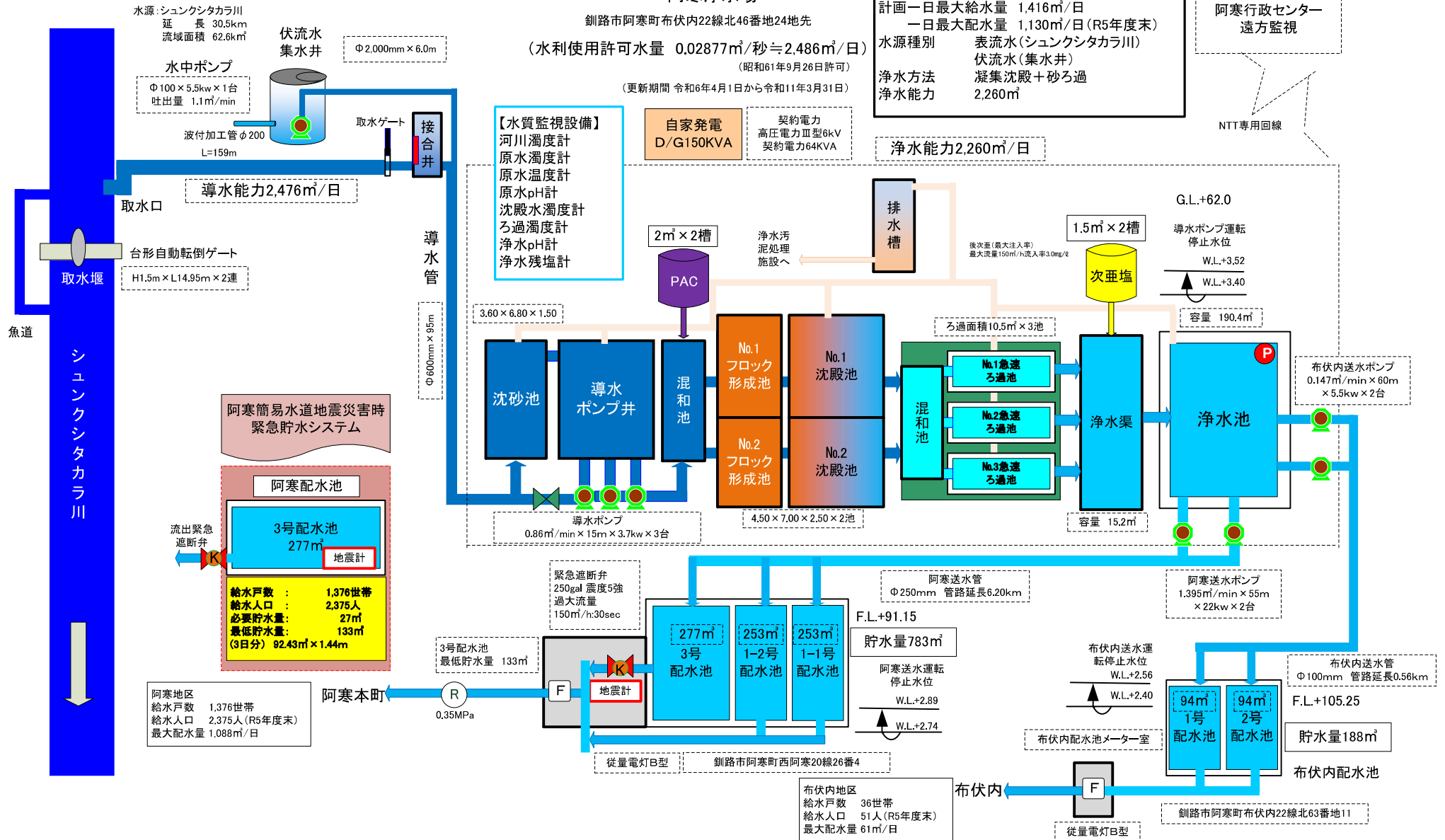
(更新期間 令和6年4月1日から令和11年3月31日)

【簡易水道施設概要】

計画給水人口 2,667人
給水人口 2,426人 (R5年度末)
計画一日最大給水量 1,416m³/日
一日最大配水量 1,130m³/日 (R5年度末)
水源種別 表流水(シュンクシタカラ川)
伏流水(集水井)
浄水方法 凝集沈殿+砂ろ過
浄水能力 2,260m³

阿寒行政センター
遠方監視

NTT専用回線

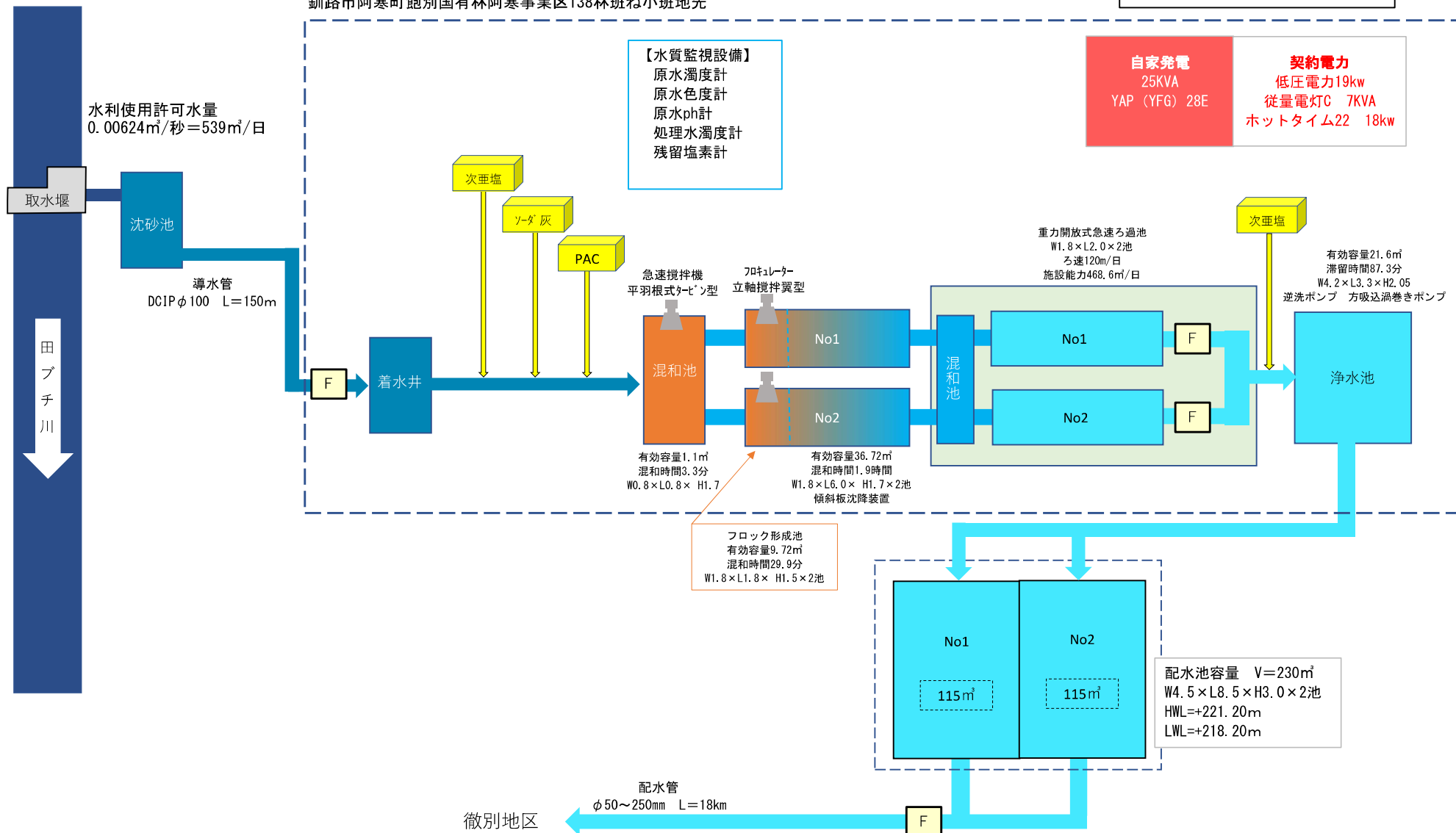


飽別簡易水道施設フロー

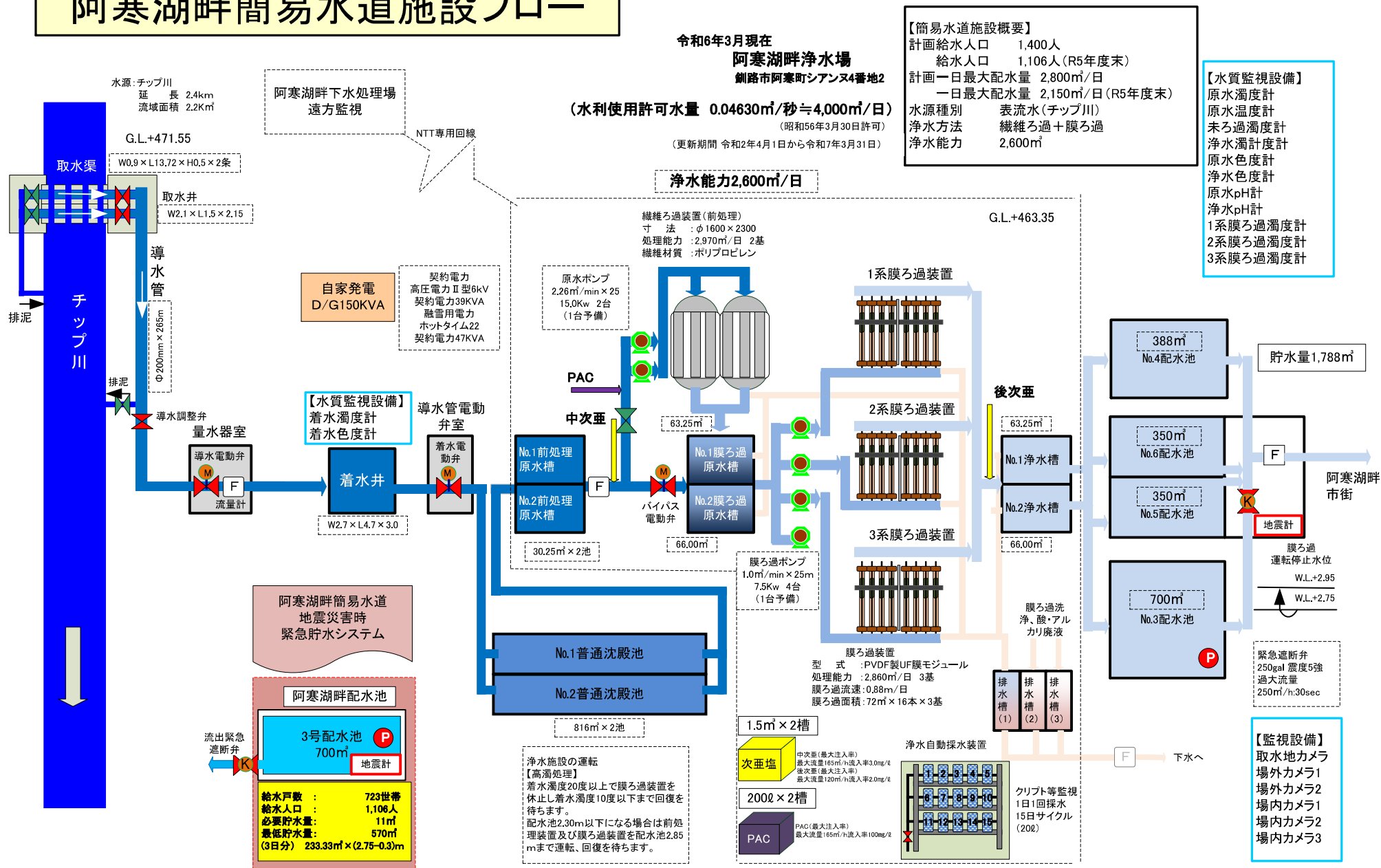
【認可概要】

2010 (H22) 年3月31日付
 環保第1283号指令北海道知事認可
 計画給水人口 180人
 計画1日最大給水量 426m³/日
 水源種別 表流水 (田ブチ川)
 浄水方法 凝集沈殿+砂ろ過

飽別浄水場
 釧路市阿寒町飽別国有林阿寒事業区138林班ね小班地先

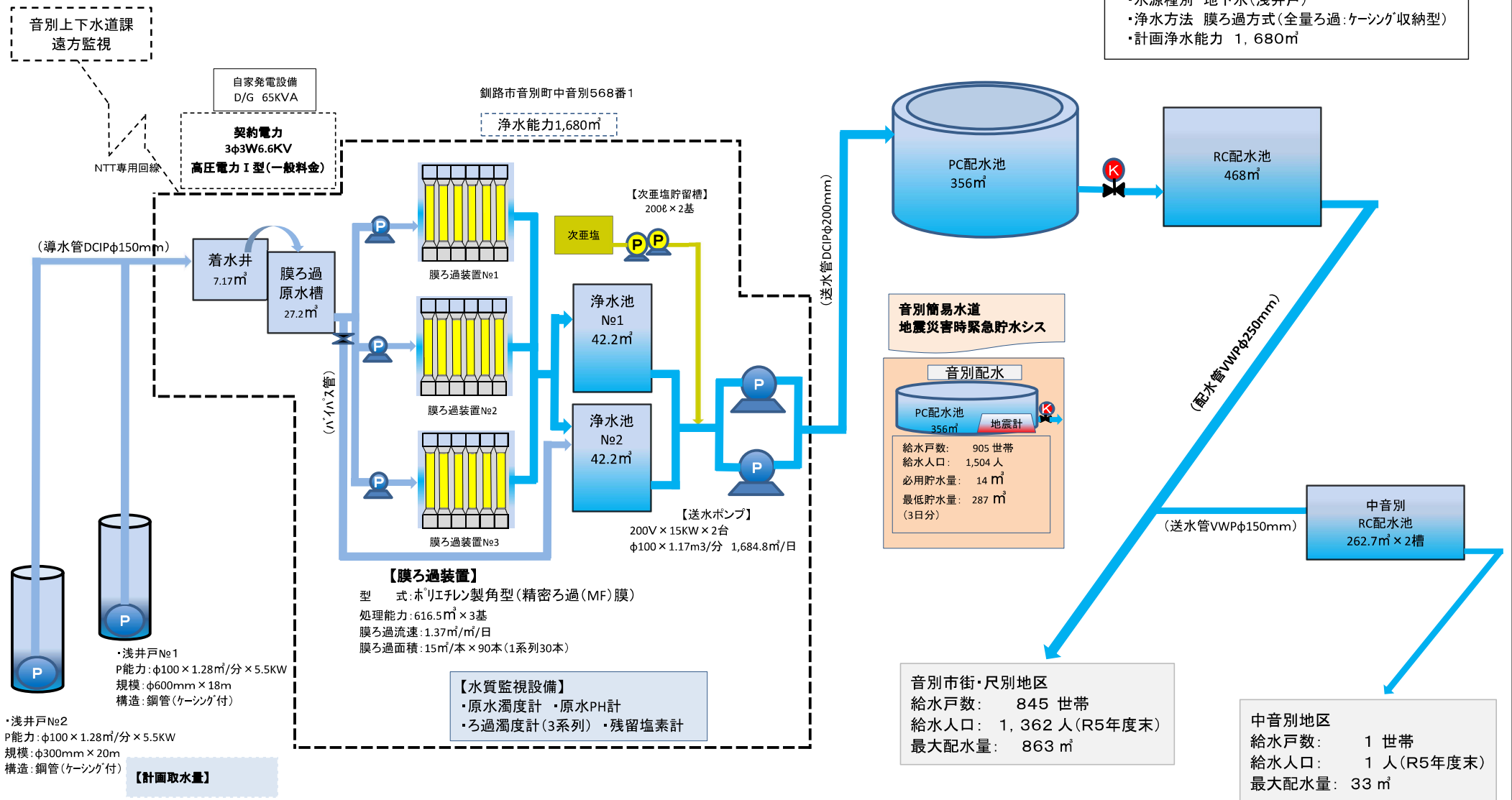


阿寒湖畔簡易水道施設フロー



音別簡易水道(音別浄水場)施設フロー

令和6年3月現在



【簡易水道(音別浄水場)施設概要】

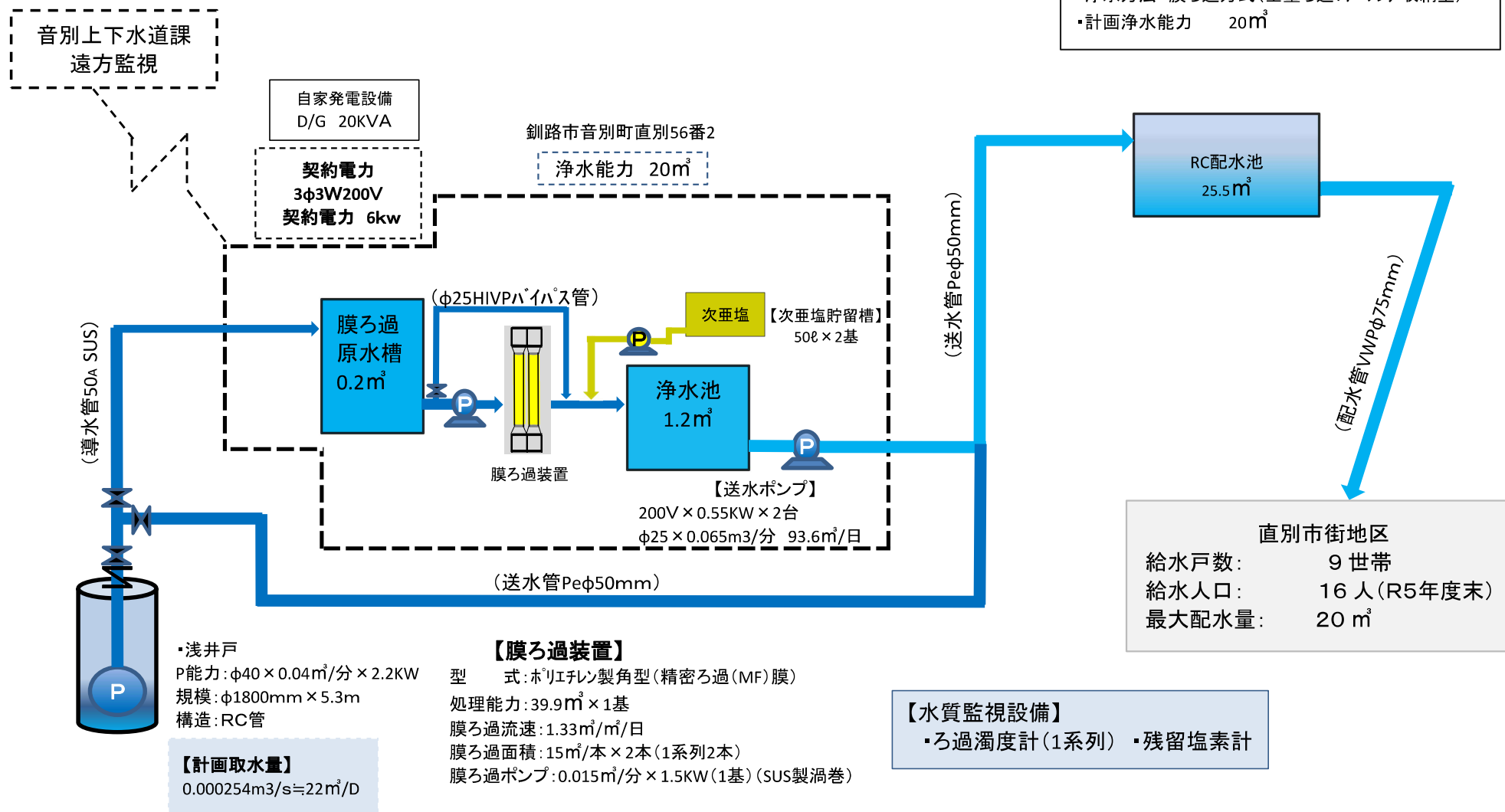
- ・計画給水人口 2,800人
- 給水人口 1,363人(R6.3末)
- ・計画一日最大給水量 1,680m³
- 一日最大配水量 896m³(R5年度)
- ・水源種別 地下水(浅井戸)
- ・浄水方法 膜ろ過方式(全量ろ過:ケーシング収納型)
- ・計画浄水能力 1,680m³

音別簡易水道(直別浄水場)施設フロー

令和6年3月現在

【簡易水道(直別浄水場)施設概要】

- ・計画給水人口 40人
給水人口 16人(R6. 3末)
- ・計画一日最大給水量 20m³
一日最大配水量 20m³(R5年度)
- ・水源種別 地下水(浅井戸)
- ・浄水方法 膜ろ過方式(全量ろ過:ケーシング収納型)
- ・計画浄水能力 20m³



釧路市水道基幹施設 地震災害時緊急貯水システム

